

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
19 枚中 1 枚目

実施年月日	第 32 期 第 4 回 運営審議会			令和 5 年 2 月 1 4 日実施
会場	中央公民館 405 講座室		傍聴人	0 人
出席者	委員		阿部 雄生、井上 経久、笠原 直美、齋藤 義明、 塩田 美幸、司山 園美、鈴木 昌清、藤瀬 竜子、	
	事務局	中央公民館	渡部 和人、村山 明、伊藤 聡	
		鳥屋野地区公民館	原 政之	
		東地区公民館	片桐 康正	
	関屋地区公民館	関口 亨		
議題等	<p>議題・報告</p> <p>(1) 令和 4 年度 公民館事業 実施状況報告</p> <p>(2) 令和 5 年度 当初予算について</p> <p>(3) 令和 5 年度 新潟市公民館事業の基本方針について</p> <p>(4) 2 年間のふりかえりについて</p> <p>(5) その他</p>			
審議された議題及び報告について以下に記載する。				
開会				
渡部中央公民館長あいさつ				
(1) 令和 4 年度 公民館事業 実施状況報告				
藤瀬議長	<p>まず、(2) 令和 4 年度公民館事業実施状況報告です。今回は、施策毎ではなく、各館からそれぞれ 5 分ずつ、今年度の事業についてご報告いただきたいと思っております。各館ごとに質疑応答の時間を設けさせていただきますので、疑問点やご質問がありましたら、このタイミングでお願いしたいと思います。それではまずは中央公民館からご報告お願いいたします。</p>			
伊藤事業係長	<p>中央公民館の令和 4 年度分の事業について報告をさせていただきます。</p> <p>中央公民館の大きな方向性として、今取り組もうとしているのが学生を地域活性化に生かす取り組み、またオンライン講座の拡大への取り組み、家庭教育における父親の意識啓発の 3 つです。</p> <p>最初に説明するのが学生連携事業の①②ですが、①の方では青陵大学の学生さんと連携しています。②は開志専門職大学の学生さんと連携しています。青陵大学の方は昨年度から取り組みをおこなっていますが、開志専門職大学については今年度初めて、インターンシップのお話をいただいて受け入れることになりました。中央公民館が考える学生との連携では、学生を人員として使うということは考えておらず、学生さんの意見や発想を社会教育の現場の中に落とし込んでいくことが理想です。あまりこちらで型にはめるということはせず、イベントの主旨を伝えて、内容を学生に考えていただきました。結果的には子どもを対象にハロウィ</p>			

	<p>ンイベントを行い、大成功だったと思いました。開志専門職大学のアニメ漫画学科の学生のスキルを活かすことができたイベントになりました。</p> <p>次に資料 1-2 の真ん中ほどの乳児期父親学級です。なかなか、子育て関連講座に参加してもらえない父親に参加してもらうため、夫婦を対象に行いました。父親の子育てへの意識啓発が目的の講座で、参加者からは好評を得ましたが、課題はいかにたくさんの人に参加していただくかということです。やはりまだまだ参加人数が少ないので、そこに工夫が必要と考えています。</p> <p>最後は、資料 1-2 の裏、「シニアのためのおうちで気軽にオンライン講座」です。シニアは、オンライン講座が苦手だろうという思い込みがあり、中央公民館は取り組んでは来なかったのですが、試しにやってみました。結果としては 50 名近くの参加者になりました。また、区だよりによる告知ではなく市公式 LINE を使って広報したこともあってか、集まった方はほとんど中央区外の方でした。この講座の実施は、オンラインの講座の可能性を測る意味では、大変大きな試金石になったと思っています。これからオンライン講座を普及するにあたって、若い人にばかり目をむけるのではなくて、高齢者の方にも、という視点を持てるような結果が得られたということは非常に大きかったなと思っています。以上になります。</p>
藤瀬議長	はい、ありがとうございました。それではただいまの中央公民館の報告につきまして。ご意見ご質問ありましたらお願いいたします。
司山委員	質問させてください。非常に興味深い取り組みをされているなと思って、お話を聞かせていただきました。まず 1 点目なんですが、私も高校のコーディネーターをしているので、学生連携のところが非常に興味深いなと思ってお話を聞いていました。確か以前、青陵大学さんとの地域連携で、なかなかテーマが決まらずに、大変な苦労されていたということをおっしゃっていたと思うのですが、カクテルに落ち着かれたあたりの経緯を聞きたいということと、あと開志専門職大学さんとの連携は、ハロウィン事業やることが決まっていて、そこに絡めたということではよかったでしょうか？
伊藤係長	そうです。
司山委員	そうすると、具体的な内容が決まっていた中で、どうやったら彼らのスキルが生かせるかというところで企画を練ってもらったということではよいのでしょうか。たぶん、何も無い状態でテーマを決めるところから始めたパターンと、そうじゃないパターンと 2 種類経験されたのかなと思ったので。

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
19 枚中 3 枚目

<p>伊藤係長</p>	<p>順に説明します。①の青陵大学さんのカクテルのイベントの方は、最初におっしゃられた通り、なかなかテーマが決まらず、何ができるのか。どうやったらいいのかということを考えることが、学生の方でなかなか難しかったようで、いろんなことを模索しては企画がつぶれていく中で、なんとか本町商店街の方たちの協力を得ながら実現ができました。なんとか形を作って実行をすることができたという経験は、今後に向けて大きな一歩となったと思います。</p> <p>そして、もう1つのハロウィンパーティーについては、イベントをやることは決まっていたのですが、中身は全く決まっていなかった状況の時に、開志専門職大学からインターンシップのお話がありました。カクテルイベントとは逆に、ハロウィンイベントは、ほぼ予定通り進捗させることができました。集まった子達のパーソナリティとか、人間関係とか、そういうものも大きく影響するのではないかとというのが今のところの感想です。</p> <p>ちなみに開志の方は、非常に生徒達に好評だったらしくて、来年度も複数回インターンシップを受け入れてくれないかという話があります。受け入れる方向で考えてはいますが、そこに青陵大学の学生も絡めていけたらおもしろいなというふうに思っています。</p>
<p>司山委員</p>	<p>ありがとうございます。すいません、ちょっともう1つ付け足して聞きたいのですが、大学生に企画を考えてもらうにあたって、ハロウィンということでしたが、何か地域性と絡めたり、中央区だから、中央公民館だからみたいな要素は考えていらっしゃいますか？</p>
<p>伊藤係長</p>	<p>この館全体を使うという企画でしたので、まずそれが中央公民館とかクロスパルとして特徴になると思いますが、本来の目標は、学生の力を地域活性化の取り組みに活かすことです。ただ今回の様子を見ると、今後例えば、地域の方達に向けたイベントを考えていく中で、学生達は十分戦力になってくれると思いました。</p>
<p>司山委員</p>	<p>ありがとうございます。私も色々やらせていただくにあたって参考にさせていただきたいと思います。</p>
<p>藤瀬議長</p>	<p>はい、ありがとうございました。そのほかいかがですか？それでは次にいかせていただきます。引き続きまして、鳥屋野地区公民館からご報告いただきたいと思います。</p>
<p>原館長</p>	<p>説明の前に、資料の誤りがありましたので、訂正をお願いいたします。資料 1-5 の「とやのコンサート」ですが、実施月は、11 月は 12 月の誤りです。訂正をお願いいたします。</p>

藤瀬議長	<p>いします。</p> <p>次に裏面の 3 段目事業名「鳥屋野潟の地区公民館作品展」とありますけれど、事業名から「潟の」を削除していただきたいと思いますのでよろしくお願いします。大変失礼いたしました。</p> <p>それでは、かいつまんでご説明いたします。資料 1-1、中段、出前講座、「健康寿命延伸学習会」についてご説明します。上所コミ協と中央区健康福祉課の南地域保健福祉センターさんの共催で健康寿命延伸をテーマにしておこなった事業です。今回は保健センターさんの方で脚本を作られまして、それを公民館職員の方で生活習慣病に関する日常の家庭の様子を寸劇で行いました。その後地域のお医者さんから、生活習慣病や定期健診の活用についてご講義をいただきました。</p> <p>続きまして、資料 1-2 の裏面をご覧ください。幼児期家庭教育学級特別編ということで、お父さんの子育てに対する出番を増やすということで、「パパと子の『うんどろあそび』のすすめ」ということで、子どもの発達状態に合った運動・遊びの理論を学んだ上で、お父さんとお子さんで楽しみながら実践をしたものになります。</p> <p>続きまして、資料 1-3 ですが、子ども体験事業ということで夏休みに 4 つ実施しました。一番下の「完全オリジナル自分のおはしでお正月」は、冬休みに実施したものです。コロナ禍の影響もありまして定員を絞って募集をしたところ、どの事業も大変申し込みが多く、抽選ということで受講者を決定しましたが、多くの方が受講できなかったというところでございます。いずれも大変好評でした。</p> <p>資料 1-4 をご覧ください。「とやの長寿学級」について説明させていただきます。新潟市老人クラブ鳥屋野地区協議会と共催でおこなっているものでございます。3 回開催の予定でしたが、7 月に認知症予防をテーマに講座を開催しました。大変多くの方からご参加いただきまして、好評のうちに終わりました。9 月に老人クラブのサークルによる芸能発表会を予定したのですが、ちょうどコロナの第 7 波の感染拡大があり、中止となりました。来月 3 月に落語の鑑賞会を予定しています。</p> <p>最後に資料 1-5 をご覧ください。一番下の「とやのコンサート」は新規事業でございます。当初 1 回の予定でございましたが、大変好評いただきまして、担当の熱意もあり、もっとやりたいということもあり、県の「文化芸術ふれあい提供事業出前講座 2022」というのを活用しまして、出演者の謝金を捻出するなどして、7 月、10 月、12 月の 3 回開催しました。以上です。</p> <p>ありがとうございます。今の鳥屋野地区公民館の説明について、ご質問・ご意見ありましたらお出しください。</p>
------	--

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
19 枚中 5 枚目

阿部委員	資料 1-3 の子ども体験事業ですが、対象には、中学生は入っていますか？
原館長	子ども体験事業の対象は、いずれも小学生です。
阿部委員	中学生は対象外ということでしょうか？
原館長	はい。
阿部委員	分かりました。
藤瀬議長	その他いかがでしょうか？私から一点、同じ子ども体験事業のところですが、抽選をするほど申し込みが多いということでしたが、募集の仕方につきまして、例えば学校さんとかにチラシを配ってそこで広報をしている等、募集の仕方が一点と、申し込みいただいた方達は、リピーターの方が多いのか、仲間みんなで申し込もうよということの数が多くなるのでしょうか。それともこのコロナ禍で、イベントを見て、仲間というのではなくて、自分で出たいから申し込んでいるのでしょうか？ちょっとそこまでは見えないかもしれませんが、お分かりになる範囲で教えてください。
原館長	まず周知の方法ですが、各所にチラシを設置したのと、あと学校の方にチラシを家庭数送付しました。申し込みが多くなった要因ですが、まず一点、定員が 15 名程度と少ないというのも要因かなと思います。それから、参加者を見てみますと特定の学校で申し込みが多いものは子ども同士で誘い合ったと思われませんが、色々な学校から参加されていますので、自分の意志や、場合によってはチラシを見たお父さんお母さんが行ったらどうかというふうに言ったのか、そこらへんはちょっと分析しきれていません。
藤瀬議長	ありがとうございます。もともと定員が少ないんだというお話がありましたが、その辺は、例えばこれだけ申し込みがあるということで、来年度以降は少し定員を広げるといような工夫というのはできそうなイベントなののでしょうか？
原館長	コロナの収束状況を見ながら、できる限り定員を拡大していきたいと思っています。
藤瀬議長	続きまして東地区公民館からご報告いただきたいと思います。よろしくお願いたします。
片桐館長	東地区公民館では公民館事業をやるにあたって、地域との連携を色々模索してお

ります。私たちの公民館の周りには、小学校で言うと、5つの小学校、万代長嶺・沼垂・笹口・紫竹山・南万代、中学校では宮浦中学校が管轄になっています。コミ協では各小学校区にコミ協がありますけれども、特にうちの公民館の地域性、近距離というところで考えますと長嶺コミ協さんと万代コミ協さんとの連携を主に模索して活動しております。

資料の 1-1 の東地区公民館の場所を見ていただきたいのですが、事業名でいうと「英語で法被でまち歩き」「地域活性化支援事業」、下の方には「地域の茶の間たんぽぽ」と書いてあると思うんですけど、その主な連携先を見てもらいたいですけれども、ここには沼垂コミ協さん、あとはここにいる万代高校の司山コーディネーターさん、「長嶺世代間交流会」では、長嶺地区コミュニティ協議会。あと万代長嶺小学校等、コーディネーターの力が大ききところが働いていただいて、公民館が困った時に、学校と連携しようという時には、このコーディネーターを中心に学校とこんなことやりたいってことで、ご相談させていただいて、このような事業ができていますとっております。

次にページをめくって、3 枚目、館名東地区公民館で、「公民館職場体験」が最初に来ているページの中ほど「幼児期家庭教育学級（復帰・入園準備セミナー）」と書いてあるところがあると思うんですけど。今まで家庭教育ということであれば、私たちはゆりかご学級とか、幼児期教育というところで、お母さんを対象にした事業をしていました。今回、復帰セミナーもお母さん対象なんですけれども、お母さんが復帰するにあたって、パートナーである夫の力も必要だよ。っていうことで本来ならば 3 月に事業をやる予定だったんですけども、職員同士で話し合って、3 月だと復帰目の前だから遅いということで、12 月に 2 回ほど実施しました。保育の定員とかがありますので、パートナーの方にも参加して頂き、9 組、延べ 22 人に参加していただきました。

次のページ 1-3 の裏側の「わくわくキッズ」ですが、文化財センターと、浚渫船とか、ものづくりマイスターによる事業をおこなっています。これは皆ただでやることができましたので、お金が一切かかっていません。

今回、万代長嶺小学校と東地区公民館で、元々は 11 月ぐらいに、ここにいる塩田さんの方から「3 年生が公民館に見学に行くから公民館のこと教えてください」というふうな話だったんですけども、それであれば毎年やってることをこっちも同じように説明するといいいのかなと思ったんですけども、塩田さんの方からご注文がありまして、ただ説明するだけではなくて、公民館が地域から何が必要とされてるか、小学生と公民館で何かやれることも考えてみてください。というふうな課題が与えられました。公民館の方では、地域性で学校と公民館が近いですし、また新潟駅でも近い。あと沼垂も近いので、観光で公民館と地域で万代長嶺

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
19 枚中 7 枚目

	<p>小学校のみなさんと交流できないかという提案をさせてもらったり、小学生が公民館の方で集まりが悪いので、小学生が公民館に来るような事業を一緒に考えてみませんか？っていうような提案をさせていただいています。なんとか学校と交流して、昨日実は塩田さんを通じて小学生からお手紙をいただきました。この中には、「私たちが考えた事業を書いていますので読んでください」ということで、開けてみてまず本当に驚いたのが、小学生の字があまりにも綺麗だったっていうところにすごく驚いて、後で回覧しますので見ていただきたいと思うんですけど、小学生の字がこんなに綺麗なのか。今それこそタブレットで、字を書く機会が少なくなっているのに、ちゃんと綺麗な字で書いてあるなというところと、私たちが考えた事業の中で色々アピールポイントとかが書いてあるんですけども、この中で私が良かったなっていうのがダンボール工作なんですけど、段ボール工作は家ではできないので、公民館にしかできない事業なので、それがストロングポイントですっていう感じの説明があったので、小学生でここまで考えてくれるんだなっていうことが嬉しかったところです。</p> <p>以上で説明終了します。ありがとうございました。</p>
藤瀬議長	<p>それではただいまの東地区公民館の報告につきまして、ご意見ご質問のある方、どうぞお願いいたします。齋藤委員お願いいたします。</p>
齋藤委員	<p>今、東地区公民館の話で興味を持ったのが「わくわくキッズ」というイベントですが、これはあまり経費はかからないのに、非常に評判がよかったというようにお話を聞きましたけれど、他の公民館さんもこういうアイデアを出されたらどうかということ、私、非常に興味しております。</p>
片桐館長	<p>公民館に、県や市の他部署の方から、こんな事業やりませんかということでチラシで回ってくるので、それを見つけて、お金がかからないものはうちの事業でやってみましょうかということで取り組んでいます。浚渫船は下の方まで新潟市のバスを使ってみたりしてお金をかけずにやっています。</p>
藤瀬議長	<p>ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか？はい、それでは続いて関屋地区公民館さんご報告お願いします。</p>
関口館長	<p>お手元の資料 1-5、基本施策 5 の裏面になります。そちらの関屋地区公民館の表のところをご覧いただきたいと思います。グレーになっている事業は、中止になったものとなります。</p> <p>文化祭につきましては、利用団体連絡協議会の方々とギリギリまで開催の可能性</p>

を探っていたのですが、最終的には中止を決定いたしました。代わりと言ってはあれなんです、活動団体の方の作品、絵画とそれから関屋中学校の美術部のみなさんの作品を館内に展示という形で実施をしております。

次に表の上から 2 つ目、「関屋モーニングサロン」について説明をさせていただきます。お配りしたチラシの 1 枚目、ピンクのものです。1 月に第 4 回目が開催されました、予定されていた全ての講座が終了しています。資料には、開催の回数全 7 回と書いてあるんですけども、今年度はもともと 4 回の予定でスタートしておりますので、お手数ですが全 4 回に訂正をお願いいたします。この講座につきましても、地域の課題解決に取り組むテーマについて学んだり、参加者同士の交流をはかったりすることを狙いとしています。コロナ禍の影響から 2 年連続で開催を中止しておりましたが、今年度復活、開催することができました。本講座の最大の特徴としましては、過去に関屋地区公民館で実施された講座の受講生の方々を中心とした、地域住民の方々の手で運営されていることが挙げられます。現在は 7 人の方が活動されておられまして、各回のテーマや講師の選定等も含め、この地域にとって今、何が必要なのかということ、話し合いを重ねながら講座を組みあげています。地域のニーズにマッチした内容であることや、地域の中で浸透している講座ということもありまして、毎回多数のご参加をいただいております。お手元の資料は 12 月末の数値を載せていますので、ちょっと異なるのですが、4 回終了しました今年度の最終的な延べ参加者数は、209 人。一回あたりの平均参加者数は、52 人となっております。

続きまして、チラシでいいますと S2・S3、黄色とピンクのものです、「大人のための朗読入門」です。この講座につきましても、朗読の初心者向けの入門講座として、全 6 回の連続講座として企画しました。今年度の新規事業になります。特徴としましては、当初から、第 6 回の最終回を、一般の方も入場可能な発表会として設定しております、目標に向かった学習と学習達成成果のアウトプットまでを 1 つのセットとして構成していることが挙げられます。また、朗読の題材としまして、文学作品の他に、新潟県内各地に伝わる昔話を取り上げることで、地域文化に触れる機会としての効用も狙いの一つとしています。定員は当初 16 人という設定だったのですが、5 つの区、38 人の方から申し込みありまして、抽選の倍率が 2.4 倍になってしまいました。そのため、会場の方を工夫しまして、20 人ということでスタートをしております。講座終了後は、受講されている方達から「もっとやってみたい」という学習継続を希望する声が多くなりまして、自主サークルが結成されました。そのメンバーの中には、こういった朗読等を含めて地域で何か自分でボランティアをやりたいんだという方もいらっしゃいまして、今後、地域での活躍が期待される場所です。

以上簡単ではありますが、関屋地区公民館の報告になります。

藤瀬議長	はい、ありがとうございました。それではただいまの関屋地区公民館さんの事業報告につきましてご意見・ご質問のある方、どうぞご発言ください。
齋藤委員	ご説明が無かった件なのですが、資料 1-1 一番下の「サークル活動体験会」というイベントをやられたようなのですが、参加者 10 名程度とありますが、これは今まで会員でない方がサークルに行って話を聞いてサークル活動を体験するという趣旨だと思うのですが、とてもよいものだと思うのですがその辺の反響はいかがだったのでしょうか？
関口館長	10 人が最終的に活動団体に入ったかどうかまでは分かっていないのですが、どのグループについても会員が減少傾向にあることから、機会をとらまえて広げていきたいというふうに考えております。
司山委員	「大人のための朗読入門」でアウトプットまで、最後の発表まで持っていった、成果発表ができるというのは素晴らしい取り組みだと思いました。 ひとつ質問させていただきたいのが、「関屋モーニングサロン」で、企画委員がいらっしゃるということでしたが、地域のことを理解されている地域の方ということでしたが、これはどういう方々が集まってきてどのぐらいの頻度で会議されてやっていたらっしゃるのか気になりましたので教えていただけませんか。
関口館長	ありがとうございます。モーニングサロンの企画委員ですが、平成 10 何年頃に講座を受けた参加者の方と聞いています。ずっと続けていらっしゃる方もいらっしゃいますし、講座の参加者ではないのですが、公民館の仕事をしていて今は違うことをしているという方が地域にいらっしゃって、その方が今年から新しく参加しています。基本的には、団体を持って公民館の活動をやっている方もいらっしゃいますし、単純に講座に参加している人もいますし、公民館全体の活動協力員的な人もいるという感じで寄り集まってということになります。ちなみに私の前任者の前公民館長が退職となりまして、ベテランの委員さんが交代するということで辞められたので、急遽今年からメンバーになっております。 開催頻度につきましては、概ね年 3 回程度。各回の開催に対してその準備としてそれぞれ 1 回。それから振り返りもあるので、振り返って次年度の企画を考えるのが 1 回ないし 2 回という感じになります。
司山委員	企画委員は随時募集しているというわけではないんですね。固定メンバーの方がずっと講座を受けられて継続しているようなイメージなんですね。

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
19 枚中 10 枚目

<p>関口館長</p> <p>司山委員</p> <p>藤瀬議長</p>	<p>募集しますというふうに広々と貼り出したりはないのですが、新しい人が入るといいよねという話が出ています。もう 10 何年もやっているということは、当時既にそれなりの年齢だった方達なので、自分達も高齢化してはいかんという話が出ていて、新しい人をということは考えてはいるんですが、広く募集してというのはやっていないので、ちょっと考えてみたいと思います。ありがとうございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。各委員から時間があれば本当はもっといろんなところをお聞きしたいというところかと思いますが、聞きたくなるような魅力的な事業がたくさんあるなという印象を持たせていただきました。</p> <p>時間の都合で、事業報告はここまでとさせていただきます。</p>
<p>(2) 令和 5 年度 当初予算について</p>	
<p>村山補佐</p> <p>伊藤係長</p> <p>藤瀬議長</p> <p>齋藤委員</p> <p>村山補佐</p>	<p>資料 2 に基づいて、歳入と歳出（施設の管理運営費）部分について説明</p> <p>資料 2 に基づいて、歳出（家庭教育振興事業・公民館事業・子ども体験活動・ボランティア活動推進事業）について説明</p> <p>当初予算について、みなさんの方からご意見やご要望がありましたら、お聞かせください。</p> <p>「施設の管理運営費」のところ、維持管理費の大半を生涯学習センターが賄っているということですが、生涯学習センターが負担している額というのはどのくらいの額になるのでしょうか？</p> <p>それから、連日テレビで電気水道ガス料金が 3 割か 4 割も上がっていることをやっていますので、この予算では賄いきれないのではないかと心配しています。また施設も老朽化して機械等が劣化してきているものに対処しなければいけないかと思うのですが、予算の削減の号令のもとで大変だと思いますが、公民館としてはどんなお考えを持っていられるかお聞きしたいと思います。</p> <p>生涯学習センター部分の負担額については、資料が無いためお答えできません。光熱水費の方は、これ以上また高騰するとなると今年度同様、補正という形になるかと思っています。施設の修繕については、中央区だけでなく、市全体を見ながら</p>

鈴木委員	<p>どこを優先するか、全体を見ながら修繕とか改修を計画しながら、大きな工事になれば公共建築の関係と相談しながらやっていくような形をとっております。なるべく予算の中で調整しているような状況です。</p> <p>今の光熱費に関してなのですが、拝見してこれでやっていけるのか、というのが正直な感想です。これだけ上がっているの、夏と冬くらいはエアコン代ということで100円くらい多く利用料を取ってもよいのではないかと思います。そのあたりもどこかで考える必要があるのではないかとというのが1点です。</p> <p>予算も人員も減ってくるのは目に見えていますし、設備も傷んできますので、公民館事業については、今後も5つの分野を各公民館が丁寧にやっていくことも大事ですが、地域の実情に応じて多少凸凹があってもよいのではないかと。例えば私は出来島の方しか知らないのですが、すごく若い方が多いです。鳥屋野地区なんかは子育てに関することをかなりたくさんやってもいいのかなと。関屋の方はシニアの数が多くて、あまり子どもの数がいない。選択と集中で、この2～3年はここに重点を置くというような判断をしなければならない時期に来ているのではないかと、というのが2点目です。</p> <p>3点目は、今、国が少子化対策ということで色々やっています。公民館には保育ルームがありますので、これを有効に使って少子化対策に貢献する方法があるのではないかと思います。たまたま読んだ本の中で、赤ん坊を持つまで、まったく赤ん坊を抱いたことがないという両親がたくさんいらっしゃるそうです。そうなってくると、そのあたりを一体どうやってカバーしていくのか。そんな場所はどこにもないわけです。少子化対策の一環として公民館の役割としていい面が使えるのではないかと思います。以上です。</p>
藤瀬議長	<p>鈴木委員から3点、非常に示唆に富むお話がございました。</p> <p>光熱水費の高騰を踏まえて、それでも快適な空間を保持したいということから、時には利用者負担をプラス100円するくらいなら、もしかしたら払えるのではないかとのご意見。</p> <p>2点目は予算も人員も減ってきている中で、各館みんな同じというよりは、選択と集中を考えていってもよいのではないかと。</p> <p>それから3点目、少子化対策に公民館が持っている機能である保育ルームを活用できるのではないかとのご意見だとお聞きしました。事務局の方から今のご意見に対しまして、こんなふうにお考えだとかいうところがありましたらお聞かせください。</p>
渡部館長	1点目から順にお答えしていきたいと思っております。

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
19 枚中 12 枚目

<p>藤瀬議長</p>	<p>予算について、これでいけるのかと言われると正直厳しいかもしれませんが。光熱水費はここだけに限ったことではなく、新潟市全体の話になりますので、高騰が続くようであれば今年度同様、年度途中での補正を組む必要があるのではないかと考えています。当初予算でも光熱水費は少し余計に盛られてはいますが、この情勢が続くと厳しいというのがあります。今ご提案の利用料を上げるということについては、ご提案があったということは私たちも認識させていただいて、もし機会があれば、運営審議会の中でそのような意見が出たということを披露したいと思えます。</p> <p>ただ、利用料を上げるとなると条例改正も必要ですし、良しとしない方もいらっしゃると思いますので、丁寧な説明と市民の皆様の十分な合意形成が必要になると思っております。</p> <p>2 点目。館や地域の実情に応じたというところについては、中央は中央の関屋は関屋の東は東のそれぞれの地域の実情が違いますので、私たちは、例えば 2 階に保育室がありますので、いわゆる家庭教育、子育て系に特化していきます。東の片桐館長のところは司山さんと色々手を組みながら学校連携をやっていただいています。いわゆるその館の特色、地域の特色というのは色々あると思えますので、それは私たちも今後も考えながら、各館長たちとも相談をしながら、鈴木委員ご提案の地域の実情に応じたという部分は考えていきたいと考えています。</p> <p>3 点目、保育ルームにつきましては、この 4 館の中では中央公民館が一番規模が大きいですから、保育ルームが一番大きいのは私たちが持っていると思うのですが、伊藤係長の方から子育ての事業の方を説明させていただきましたけれども、こういったところは有効に活用しながら、といっても、講座を増やせるわけでもないのですが、保育ルームを有効に活用しというところは念頭において講座を組んでいきたいと考えています。以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは当初予算については、ここまでとさせていただきたいと思えます。様々なご意見ありがとうございます。ぜひ活かしていただきたいと思います。</p>
<p>(3) 令和 5 年度 新潟市公民館事業の基本方針について</p>	
<p>渡部館長</p>	<p>資料 3 により令和 5 年度新潟市公民館事業の基本方針について説明</p>
<p>藤瀬議長</p>	<p>ただいまの「新潟市公民館事業の基本方針令和 5 年度版」につきましてご意見ご質問を承りたいと思えます。</p>
<p>井上委員</p>	<p>今日ずっと公民館の取り組みに発見と刺激をいただきながら聞いておりました。事業報告から続けてになってしまうのですが、印象に残ったのが、3 公民館から</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
19 枚中 14 枚目

	<p>でとさせていただきます。ありがとうございます。</p>
<p>(4) 2年間のふりかえりについて</p>	
藤瀬議長	<p>続きましたの議題です。今回の会議で、運営審議会委員の皆様が2年間の任期が終了いたします。委員の皆様からこの時間に公民館運営審議会委員としての2年間を振り返っていただいて、それぞれのお立場でのご意見や感想等を一言ずつお聞かせいただきたいと思います。</p> <p>阿部委員から順番によろしいですか？</p>
阿部委員	<p>寄居中学校の阿部でございます。2年間お世話になりました。ありがとうございました。また、丁寧な事業の説明、来年度の方針についてお話しいただきありがとうございました。来年度の基本方針を読ませていただいて、冒頭の部分は、このまま寄居中学校の教育計画でも使えるような文言がたくさん並んでいて、学校と公民館の事業というのは非常に共通点が多いんだなということを改めて感じた次第です。</p> <p>私の関心事としましては、前回の会議でも申し上げた通り、部活動の地域移行に対してどう対応していくか。部活動で培ってきたコミュニケーション力、あるいは粘り強さとか、あるいは自己肯定感とかそういったものを育む教育活動を学校として改めて考えていく必要があるなと思っているところです。</p> <p>そんな中でやっぱり学校としては、社会教育との連携っていうのが、これから改めて見直していく必要があるというふうに思っております。学校を預かる者として、ぜひこれから、社会教育をすすめていращやる皆様方と連携ができればいいなと思っております。</p> <p>そんな中で予算規模が縮小されているというのがちょっと心配な部分があるんですけど、ぜひこれからも手を携えて子どもたちが育てられるようお願いできればなと思っております。2年間ありがとうございました。以上です。</p>
井上委員	<p>2年間お世話になり、感謝申し上げます。特に3年ほど前からはコロナ禍で、いろんなご苦労があったかと思えます。これを拝見すると、中止になった事業は、概ねがコロナによってということになっていて、なかなか収まらないまま数年経ってしまったなあと思えます。春からどんどん変わってくる動きもあるようです。そんな中で、ある程度一般化したオンライン事業であったり、リアルが戻ってくると思うんですけども、もしかしたらオンラインによって、これまで関わりがなかった方が公民館活動に関わってきたのかもしれないし、今、過渡期になると思います。そのへんをうまく使い分けをしながら、ご苦労も大変おありかと思いますが、運営をしていっていただきたいと思えます。どれだけ私が力になれるか</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
19 枚中 15 枚目

	<p>分かりませんが、これからも市民として公民館の活動に関わっていきたいと思います。また、機会があればこういった場に立ちたいと思います。本当に 2 年間ありがとうございました。</p>
齋藤委員	<p>2 年間、初めて運営審議委員をさせていただきました。直接公民館の運営とは関係ないんですけど、私は利用者団体の協議会に入っておりまして、この 3 年間、文化祭が止めになってしまったのが残念です。利用している団体の会員数の減少、高齢化、活動に興味がないというような状況で、文化祭のような目玉の活動がなくなったような感じで、利用者団体がどんどん減っていくというような状況です。そうしますと、公民館としては、多くの人に利用してもらいたいという要望に相反するような経過が今後続いていくような気がして、それが、私が一番心配していることですが、それを避けられそうもないような情勢になっています。なんとか利用者団体が活動を活発にして、公民館活動をもっと活発な方向に持っていきたいと思っているのを、この 2 年間感じまして、ちょっと残念だと思っております。ありがとうございました。</p>
鈴木委員	<p>こういう会議は初めてでしたので、今までは利用させていただき立場しかみておりませんでしたので、大変勉強になりました、職員の皆様のご苦勞を再認識いたしました。</p> <p>ちょっと感想ですけど、各事業のご説明をお聞きして、大変勉強になったんですけど、感じましたのは、これをできれば公民館皆様の全員の前でやった方が、我々以上に持って帰れるものはお有りなんじゃないかなと思いました。このような会議を地区の公民館の皆様に共有できないかなというのが一点です。</p> <p>それからもう一つは、確かに利用団体は減っているんですけど。団塊の世代がこれから一気にシニアの部類に入りますので、実は減ってるんですけど公民館のシニアの利用団体を作るのが非常に大事になってくると思います。これだけコロナで人が切れてるのに、何とか人のつながりをどこかで作ることをしていかないと大変なんじゃないかなというのが 2 点目です。</p> <p>と同時に、関屋地区公民館の予算と人員の現実を見せていただいて。今は正規職員は 2 人しかいらっしやらない。あと 2 人はパートだか契約で。今まで文化祭は職員におんぶに抱っこだったんですが、自立しようかなというようなことを考えないとジリ貧になってしまうので、今一生懸命館長さんと話していて、何とかして利用団体で文化祭とかそういう事業を自力で全部やれるようにしたいというのが夢です。</p> <p>大変お世話になりました。ありがとうございました。</p>

司山委員	<p>運営審議会に参加させていただいて、色々な公民館さんの取り組みを私自身が聞かせていただきながら勉強をさせていただきました。その勉強の中で私自身がちょっと思い出したことがあるので、少しお話しさせていただきたいと思うんですが。私出身上越市なんですけれども、小学校の頃に、まだ合併前の上越市ですが、上越市が主催をしているわんぱくラリーという、小学生4人1組でそれぞれの地域を周りながらチェックポイントがあるんですけど、観光地だったり、有名な場所だったり、そういったところを巡って行ってポイントをたくさん集めたチームが優勝するというような取り組みをしまして、私それ小学校の頃に参加をしました。で、小学生だけだと色々分からないこともあるので、そこに必ず高校生のリーダーがくっついて一緒回るという取り組みがあって。私小学校の時に経験したので、そのついてくる高校生どんな人なんだろうと興味を持ちました。そして、高校生になった時にリーダー養成事業というのを上越市がやっていて、それがその高校生に当たる部分になるんですけど、私はそのプレイリーダーというのに参加して、実際に今後は逆の立場で小学生を導いていくというようなことをさせてもらいました。</p> <p>で、その経験が多分あったのかなと思うんですけど、大学になってからも、子どもたちと接するような公民館の事業などにも参加させていただきましたし、今も高校生と関われるような立場でいさせていっているというのが、順繰り順繰りで来ているなとすごく感じていて、先日もたまたま一緒にわんぱくラリーに参加した友人と上越でわんぱくラリー復活させたいよね、なんていう話にもなっていて。今後少子高齢化でというようなところや、地域のコミュニティーの力っていう部分を考えていかなきゃいけないっていう時に、やはり自分たちがどんな経験してきたかっていうことがすごく大事だなということを感じています。子どもの時からこういうふうな経験をしたから大人になってこうしたい。子ども達が元気だと、やっぱり高齢の方達も応援しようかなという仕組み作りができるのかなというのがすごく感じているので、私自身は、公民館事業は非常に大切なことだなんていうふうに思いますし、連携しながら学校だとかそういったところで、私自身がまた繋ぐ役割として今後も関わっていけたらいいなというふうに感じています。</p> <p>また、運営審議会も次期の委員としても関わらせていただいてまたご意見などを聞かせていただきながらやっていきたいと思っています。どうもありがとうございました。</p>
塩田委員	2年間運営審議委員として出させていただきます。私自身は私が勉強させていただくばかりで、たいした意見も述べられないまま終わってしまうわけですが、本当に皆さんが苦勞されていることを見ながら、私ができることをこれ

笠原副議長

からも考えていきたいなと思っています。私は東地区公民館の利用団体の 1 人でもあったのですが、実は今年、サークルから抜けてしましまして、利用団体の一員ではなくなってしまったんですけれども、やはり高齢化とか公民館を使う方が少なくなっているという現状はあるなと思っています。

小学校ではコーディネーターをしております、東地区公民館とは色々関わらせていただいているわけですが、地域の方が初めて子どもたちと交流した時に、「子どもって面白いこと考えているね」って言ってすごく喜んで帰っていかれたんですね。やっぱり公民館でも、学生さんとか子ども達とか公民館利用者ではないけれども、そういう人たちで、もっともっと交流をはかりながらやっていると、利用団体の方もどっちも元気になっていくのかなという感じがしております。今回の「クロスパルナイト」のようなイベントのような試みもすごく良いものだったと思います。これからは公民館のみなさんには、色々工夫されて活発な活動ができるようにと思っております。2 年間ありがとうございました。

日如山小学校のコーディネーターをしております笠原と申します。2 年間本当にありがとうございました。公民館の皆様のお話を聞いて、本当に努力をされていらっしゃるのだなということを毎回感じさせていただいております。

私の感じているところは、家庭における教育力向上の支援というところに非常に私自身が興味がありまして、私も小学校で、下町の小学校なので、やっぱり保護者の方が厳しい状況っていうのが非常に多く見受けられます。土地柄もあるんでしょうけど、そういった手が届かないところの底上げというか、そこに私は手を差し伸べたいっていうか、なんかずっとそれを考えているんですけど、その方法はずっと見つからないままなんです。うちの小学校のことなんですけど、来年度 PTA の組織を大きく変更する動きが今あります。それはなぜかと言うと、やられる組織の一員であるより、やりたい人がやる組織の方がいいっていう結論に達したんですね。それはまあ PTA 会長さんがもう何年かうちの会長していただいているので、その方の考えが非常に強いんですけど。やっぱりやりたい人が自発で集まった組織って本当に楽しくてやりがいもあるし、逆に人が寄ってくるっていうそういう構造をコロナ禍でも見させていただきました。学校でも、文化祭・バザーっていうのはずっとやってないし、おそらく今後ないんじゃないかなって。時代と共に無くなっていくんじゃないかなって思うんですけど、その PTA 会長さんは、自分でできることをやろうっていうことで、1 品セールとかいろんなこと考えて、やりたい人やろうって言って、初めて来た PTA の人が「すごく楽しかった」って。「またやりたい」っていう声が聞こえてきたりするので、公民館の職員の方の色々な知恵とかスキルを、私のような立場の人が PTA の方と繋ぐことで、一般の保護者の方が公民館の職員の方ってこういう人なんだって知る機会にもな

藤瀬議長	<p>りますし、みんなでまた 1 つスキルアップできるような、そんな舞台ができるといいのかなというふうに考えています。以上です。ありがとうございました。</p> <p>皆さんどうもありがとうございました。</p> <p>本当に私達って、一人で、あるいはひとつの機関でできることって限られていて、こうやって皆様から、それぞれの立場から色々な視点でお話を伺うことが非常に力になるなというふうにも感じさせていただきましたし、今まで自分が気づかなかったことにも気づかせていただけるんだなということを感じまして、こういう場の大事さを噛みしめておりました。ありがとうございます。</p>
(5) その他	
藤瀬議長	<p>それでは、議題（5）その他ですが、全体を通してこれを言えばよかった、聞けばよかったということも含めまして、皆さんの方から質問、あるいはご意見がございましたら、出していただければと思いますが、いかがでしょうか？</p> <p>よろしいですか？皆様のお声をお聞かせいただきましたので、その中にも込められていたかなというふうに受け取らせていただきます。皆様から 2 年間の振り返りを伺いましたので、私もこの時間で一言お話をさせていただきたいと思います。本当に皆さんありがとうございました。2 年前を振り返りますと、コロナがはじめて、公民館さんだけでなく、我々も含めて先の見えない初めてのことに遭遇した不安の中にいた時期だったなというふうに思い出しております。その中でもやれることを探りながら、気がついたらオンラインのような新しい形が生まれていて、そして新たなつながり、距離を超えたつながりなんかも出てきたり、あるいは、行くことは叶わないけれども、オンラインだったらこの辺でおばあちゃんの世話をしながらとか、ちょっと子どもの面倒を見ながらなんていう新しい形が生まれたんだなということも改めて感じさせていただきました。</p> <p>私も子どものことを普段考えながらやっているものですから、2 つ、子育てに関することを期待したいなと思います。コロナ禍で産前産後のケアをされている方から、先日お話を伺ったんですけど、このコロナ禍では出産の形、出産の仕方が随分と変容していて、それは里帰りということがまずは少なくなった。帰れば、おじいちゃんおばあちゃんが危ないというようなこともあって、里帰りが少ない。それから、入院中も、Zoom とかでは会えるとしても、生の家族と会えない。それから妊娠中もパパママ教室のようなことも、集合して対面という形はずっと中止が続いたと。そんな中で、産んだ後のお母さん達の大変さということが伝わってきたりしておりますし、お父さんは、ご準備、気持ちの準備みたいなものも十分に丁寧にできないまま、目の前に子どもがいるというような家族も多いと。コロナ禍を 2 年経て、2 歳ぐらいになった子どもたちがこれから集団の場に入って</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
19 枚中 19 枚目

	<p>いくわけですけれども、そこはやはりその対人関係とか育ちを丁寧に見ていかないといけないよというふうに教えていただきました。是非この部分は、今日もお父さんですとか、お母さんですとか、支援の事業がたくさんありましたけれど、丁寧に公民館さんの方で企画を組んでいただけるととてもありがたいなと思いました。それが一点です。</p> <p>それから、計画の方にも、「自信を持って自己実現していける市民の育成」とかあるいは「自己肯定感を上げる」というような言葉がありました。子ども達は学校に所属している子が多いと思いますけれども、学校の中ではあんまり評価されにくい活動、例えば紙飛行機をどれだけ遠く飛ばせたかとか、箸をどれだけ上手に作れたかとか、学校では先生方も気づいていても注目することが少ない部分ですかね。そんなところをたくさん活動に取り入れていただいて、君それすごいね。みたいな場面があれば、そんなふうにフィードバックをもらえる子ども達の機会がたくさんあると、とてもありがたいなというふうに感じておりました。</p> <p>2 点、公民館の事業の大事さのようなものも皆さんのお話を伺って感じましたので、引き続きまた来年度も地域の実情にあった、そして、基本方針に沿った事業の運営をお願いできればという想いでおります。ありがとうございました。</p> <p>皆様のご協力のおかげで、本日予定された事項は全て終了いたしました。ここで事務局にお戻しいたします。委員の皆さん、どうもご協力ありがとうございました。</p> <p>改めまして、委員の皆様 2 年間の任期、大変ありがとうございました。最後、藤瀬議長もおっしゃいましたが、コロナ禍の中で私もこちらの部署に異動してまいりました。正直なところ公民館の事業というのがどういう形のもが一番いいのかというのが私も分からないところがあります。これから 2 類から 5 類になって講座のやり方も別途考えていくことになると思います。今日色々ご意見いただきました、各地域での公民館の特色、地域に応じた柔軟な考えというのも考えながら館運営にあたってまいりたいと思いますし、委員の皆様におかれましては、来期もおつとめいただけるようであれば、またお会いした時に色々なご意見をいただきながら考えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>2 年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。</p>
村山補佐	以上をもちまして、第 32 期第 4 回中央公民館運営審議会を終了させていただきます。長い時間大変ありがとうございました。
閉会	